

三ツ石山&岩手山山行報告

【山行日】2022年10月1~2日(土日)
【集合】栃木市運動公園P AM 3:00
【費用】マイカー1台 : 19,500円
【メンバー】CL:鈴木ユ SL:廣瀬、

石澤、鈴木ミ、福島、吉田

1日 快晴 網張スキー場リフトを利用し、いぬくらからピストンで三ツ石山に登り、大松倉山と三ツ石山山頂からの紅葉と展望を楽しむ。

栃木市運動公園P3:00=網張スキー場P

8:00/8:30+++いぬくら 8:45/8:55~大松倉山 10:30

~三ツ石湿原 11:00/11:15~三ツ石山 11:45/12:15

~三ツ石湿原 12:40~大松倉山 13:40~いぬくら

14:10/14:20+++網張温泉スキー場P14:35/14:50=ペンション「山賊」15:00

3:00に栃木市運動公園Pを出発。安達太良SA、前沢SAで休憩し、滝沢ICで下りる。278号線を進み 8:00に網張温泉スキー場に着いた。準備をしてトイレを使い第1リフトに乗る。リフトから灌木の中に



赤や紺色の実が見えた。5・6種類はあった。第3まで乗り継いでリフト上に着く。標高1320mの表示があった。ストレッチを済ませ歩き出す。

5分程で犬倉山展望台。網張温泉元湯の轟音が聞こえる。源泉は見えなかったが水蒸気は見えていた。また5分程で犬倉山分岐。左の大松倉山方面へ緩やかに下って行く。登山道は狭くぬかるんでいた。少々アップダウンもあった。滑らないように注意して進んでいった。正面の紅葉掛かった山が近付いてきた。大松倉山だ。休憩し、大松倉山に向かって緩やかな斜面を登って行く。だんだん斜面が急になり汗が出るようになった頃



開けた所に出た。紅葉の山頂はまだ先に見える。見晴らしがよく展望スポットになっているようだ。

振り返ると岩手山が見えた。大松倉山を背景に写真を撮った。真っ直ぐな登山道を登って行く。左右には色付いたミネカエデやドウダンツツジ。山頂に「大松倉山 1407m」の標識があった。三ツ石山が見えるようになった。山頂直下の紅葉が綺麗だった。

紅葉の中に登山道も見えている。ここからの稜線歩きはほとんど平だった。三ツ石山を見ながら気持ちよく進む。300m位歩くと「三ツ石山荘まで 0.8km」の標識。ここからは下り。30分程で三ツ石湿原に入った。草紅葉になっている。三ツ石山荘にはたくさんの方が休憩していた。トイレにも人が並んでいた。トイレを済ませ「三ツ石山頂まで 0.9km」を励みに山頂を目指す。



初めはなだらかに紅葉の灌木の中を行く。右へトラバースすると木段があり石がゴロゴロする登山道になった。だんだん急になる登山道を登り上げると大きな岩があり結構な数の人が休んでいた。まだ山



頂ではない。次のピークが山頂だった。1466m。人が多い！50人はいる。順番を待って山頂標識前で写真を撮った。場所を見つけて昼食。岩手山が見える場所にした。昼食を済ませた後、北側の岩にも登って写真を撮った。三ツ石山とは、どこから見ても山頂が三つに見えるから付けられたそう。後から後から人が登ってくる。延べ100人にはなつたと感じた。それだけ紅葉が綺麗な人気の山なんだと思った。下山は来た道に戻り、登ってくる登山者を待ちながら少しずつ下った。三ツ石山荘は相変わらず混雑していた。大松倉山の展望台スポットで休憩し、鞍部まで下りて犬倉

山展望台へ戻った。リフト3台を乗り継ぎ、駐車場に14:50に着いた。ペンション「山賊」へは車で10分だった。このペンションは食事が素晴らしかった。品数が多く食べ切れない位だった。

福島 記

2日 快晴 早朝「山賊」を出発し、馬返登山口から旧道経由で岩手山山に登り、お鉢巡りを楽しんで下山し、新道経由で馬返登山口に戻り栃木市運動公園に帰着する。

山賊 5:50＝馬返登山口P6:10/6:30～五合目 8:10/8:20～八合目避難小屋 9:30/9:45～岩手山 10:35/11:00～八合目避難小屋 11:40/12:15～五合目 13:00～馬返登山口P14:15/14:30＝栃木市運動公園P19:30

今日 10月2日の朝4時に目覚ましのアラームが鳴る。5時の朝食に間に合うように各自が着替えと



荷物の整理を行い、5時の朝食の時間を待っていると準備ができたとのことである。6名全員が揃い、朝食の量の多さを見て『すごいボリュームに食べきれない』などと話しているとオーナーから『岩手県人は、昔から食べ物の量を多く出すことが、当たり前のように育った。』とのことであった。食べきれないだけ頂き、トイレを済ませて予定通り5時50分にペンションを後にした。

岩手山の登山は、昨年の10月にリーダーとK澤さんとH瀬、他の4名が挑戦したが、8合目の小屋で強風と雨により撤退を余儀なくされ、今回はリベンジ登山で計画した。

ペンションを出発して、馬返の登山口に向かう途中、青空の中に聳え立つ岩手山が見えてきた。今日は、山頂から360度の絶景が見えるだろうと期待して、駐車場で登山の支度をした。

トイレを済ませてストレッチを行い、6時30分に馬返の登山口から登り始めた。

登ると樹林帯を抜けて見晴らしが良い岩場になったが、日差しが強く汗が噴き出しながら登り続けた。7合目まで急登が続き。その後松の林を進むと8合目の避難小屋の屋根が見えてきて、”やっと休めると一安心”であった。



避難小屋では、ほぼ計画通りの時間であったので、小屋の湧き水の”御成清水”から冷たい水を補給した。



日射の強い中を登って汗をかいた為、冷たい水がのどを潤した。

見上げると青空に聳える岩手山の山頂が鮮明に見え、山頂へ向かう登山者の姿も良く見えた。しばらく休むとリーダーから『山頂をやっつけちゃいますか?』とかけ声があり、いよいよ山頂へ向けた登りを開始した。林の中をしばらく歩くと砂礫道になりズルズル足がとられるようでとても歩きにくかった。お鉢に出て山頂へ近づくと数名のグループらしい人たちが下山し始めて山頂はあまり混雑していなかった。期待した通り山頂まで行くと360度全周見渡せる快晴であった。

リーダーからリベンジ登頂の握手を求められしっかり握手を交わした。眼下には、八幡平や西岩手火山帯や御苗代湖(帰ってから調べた)が見えて、絶景を楽しむことができた。

しばらく展望を満喫しながら写真を撮ったりした後、お鉢巡りをしながら火口の全貌を見て歩いた。火口は、見る方向が違うと山の表情も異なり、写真では味わえない光景を楽しみながら、カルデラの中へ歩き、岩手山神社奥宮で集合写真を撮り、カルデラの中を横切り下降地点分岐まで登って行った。

この分岐から8合目の小屋へ向い、小屋前のベンチで昼食をとり、下山の為の水を補給した。

食事を済ませて、7合目から新道の樹林帯の中を下り、2.5合目まで下っていくと気温も高くなってきた。下山では、大きなトラブルもなくほぼ予定通りの時間に馬返し登山口に下山した。着替えをして帰路についた。高速道路に入り、前沢ICで給油を行い、那須ICでトイレ休憩をとり予定よりも早く7時20分に栃木市運動公園へ着くことができました。参加した皆さんも天気にも恵まれて最高の景色に大満足でした。特に私とK澤さんは、去年の強風による撤退のリベンジを果たせ、山頂からの絶景を堪能でき大満足の岩手山になりました。



リーダーには、遠距離であるにも関わらず、2日間の山行に御尽力頂き、本当にありがとうございました。

廣瀬 記

